

立教大学学術推進特別重点資金（立教 S F R）
 大学院生研究
 2012年度研究成果報告書

研究科名	立教大学大学院 経済学研究科 経営学専攻		
研究代表者	在籍研究科・専攻・学年	氏名	
	経済学研究科経営学専攻3年	藤井英明 印	
指導教員	所属・職名	氏名	
	経済学部教授	中島俊克 印	
自然・人文・社会の別	自然 ・ 人文 ・ <input type="checkbox"/> 社会	個人・共同の別	<input type="checkbox"/> 個人 ・ 共同 名
研究課題名	小売流通業の発達と「商業の近代化」ー富山市中心部の事例ー		
研究組織	在籍研究科・専攻・学年	氏名	
	経済学研究科	藤井英明 以上	
研究期間	2012年度		
研究経費	200千円（実績額又は執行額）		

研究の概要（200～300字で記入、図・グラフ等は使用しないこと。）

戦後の富山市における商業の発達について、特に駅や駅前との関係を重視しながら考察した。当初は1970年代以降の駅前再開発を契機とした、同市中心商店街のコミュニティーマーケット事業の遂行を通じた「商業近代化」の事例についてのみ扱う予定であったが、SFRを利用した現地調査により、貴重な一次資料を閲覧することができたため、戦後復興期の駅と商業の有り様についても考察を行った。特に、駅の中の商業については、わが国でもほとんど研究がなされていない分野であり、有意義なものであるといえる。

キーワード（研究内容をよく表しているものを3項目以内で記入。）

[駅・駅前] [商店街] [商業近代化]

研究成果の概要 (図・グラフ等は使用しないこと。)

SFR を利用できたことにより、以下の通り、二本の論稿執筆と三回の学会報告等を行うことができた。

論稿：

1. 「1970～80 年代における富山市駅前再開発と中心商店街—「商業近代化」政策とコミュニティー・マート事業—」、『立教経済学研究』第 6 6 巻第 3 号。
2. 「第二次世界大戦後における駅と商業の復興—富山民衆駅を事例に—」、『鉄道と地域の社会経済史』、日本経済評論社 (2013 年 4 月 25 日出版予定)。

学会発表：

1. 経営史学会関東部会報告「1980 年代の地方商店街と「商業近代化」
於東洋大学、2013 年 4 月 21 日
2. 経営史学会全国大会自由論題報告「「商業近代化政策」と中心商店街の活性化」
於明治大学、2012 年 11 月 3 日
3. 市場史研究会冬季全国大会報告「民衆駅—戦後復興期のわが国における駅と商業—」
於東京工業高等専門学校、2012 年 12 月 1 日

他、研究会報告。

まず、経済学研究に査読付論文として掲載された論稿 1 については、表題のとおり富山市中心商店街が「近代化」に取り組む様相について述べ、他都市と違いそれまで大型店問題に悩まされることのなかった当該商店街が、80 年代以降の駅前再開発により、突如として「近代化」の必要に迫られた際に、国の「コミュニティー・マート事業」を利用して商店街設備の再投資を行った事例をみた。80 年代中頃から国により行われたコミュニティー・マート事業を遂行した商店街の研究自体がこれまであまり見られなかったが、同事業の指定を受けた商店街だけでなく、近隣商店街にもプラス効果が波及したことを明らかにした。これまでほとんど利用されることがなかった、商店街の一次資料を用いることができたことで、商店街組織の細かい活動をおうことができたのも、成果と言えると思う。

また、論稿 2 では、世界的に見ても稀有な「駅と商業の合体」について、戦後復興の過程でとられた「民衆駅」方式による駅改築にその萌芽を見出すべく考察を行っている。富山民衆駅を事例として、一次資料を用いながら当時の国鉄と、実際の計画主導者である市、それを補助する県、最大の利害関係者となる入居業者と商工会議所などのやり取りを述べた。

上記のとおり、駅構内における大規模な商業の発達世界的に見ても我が国に特徴的な事象であり、これを考察するにあたって、民衆駅は非常に重要なキーポイントとなると考える。我が国の商業史研究において、駅と近隣商業の関係は看過することのできない大きなテーマであるゆえに、駅構内への商業の包摂の過程を明らかにした意義は大きいと考える。

上記二点の論稿を執筆する過程で明らかにした事柄や、これらに付随して新たに発見した周辺事項については、学会・研究会報告を行うことで様々な指摘を得ることができ、今後の課題が明確になった。

単年度のうちに成果が求められる SFR を利用したことにより、研究の区切りと新たな課題の発見ができたことは個人的にも大変有意義であった。

研究成果の概要 つづき

研究発表 (研究によって得られた研究経過・成果を発表した①～④について、該当するものを記入してください。該当するものが多い場合は主要なものを抜粋してください。)

- ①雑誌論文 (著者名、論文標題、雑誌名、巻号、発行年、ページ)
- ②図書 (著者名、出版社、書名、発行年、総ページ数)
- ③シンポジウム・公開講演会等の開催 (会名、開催日、開催場所)
- ④その他 (学会発表、研究報告書の印刷等)

- ① 「1970～80年代における富山市駅前再開発と中心商店街—「商業近代化」政策とコミュニティー・マート事業—」、『立教経済学研究』第66巻第3号
(2013年、95-123頁)

- ② 日本経済評論社、「第二次世界大戦後における駅と商業の復興—富山民衆駅を事例に—」、『鉄道と地域の社会経済史』(2013年4月25日出版予定)

- ③ 市場の地域性研究会報告「1980年代における地方都市中心商店街の活性化」、
於立教大学、2012年10月3日

戦後鉄道史研究会報告「「民衆駅」方式による駅復興と商業の包摂」
於立教大学、2013年1月30日

- ④ 経営史学会関東部会報告「1980年代の地方商店街と「商業近代化」
於東洋大学、2013年4月21日

経営史学会全国大会自由論題報告「「商業近代化政策」と中心商店街の活性化」
於明治大学、2012年11月3日

市場史研究会冬季全国大会報告「民衆駅—戦後復興期のわが国における駅と商業—」
於東京工業高等専門学校、2012年12月1日